

中央包括エリアでの開催です。
ぜひ、**名刺をお持ちになって**ご参加ください！

平成29年度

医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会

～お互いの業務の現状等を知り、忌憚の無い意見交換ができる関係づくりに向けて～

第5回
(定員：100名) 平成29年10月19日(木) 申込締切 平成29年9月28日(木)

19:00～21:00 (受付開始 18:30)

コーディネーター **伊藤 健次 氏**

会場

甲府市総合市民会館 大会議室

(甲府市青沼 3-5-44)

(山梨県立大学 人間福祉学部 福祉コミュニティ学科准教授)

参加対象者

甲府市中央地域包括支援センターの担当エリア (春日、相生、穴切、朝日)
を支援地域とする次の職種の方

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、病院関係者、介護サービス関係者、介護支援専門員、
栄養士、歯科衛生士、介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、リハビリテーション専門職、
地域包括支援センターの職員、行政関係者など、医療・介護に携わる方

※申し込み多数の場合は、同一事業所から参加される人数を調整させていただくことがあります。ご了承ください。

昨年度から、さまざまな職種の専門職が参加され、「顔の見える関係づくり」から「信頼できる関係づくり」まで取り組んでいけるよう、「医療・介護連携 顔の見える関係づくり交流会」を開催しています。

既に南・笛南、東、北東、西の各地域包括支援センターの支援エリアで開催し大変好評をいただきました。

今年度3回目となる交流会を、中央地域包括支援センターの支援エリアで開催します。交流会を通してお互いの職種を理解するとともに、気軽に連絡を取り合えるような関係を築いていただきたいと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております！



◎タイムスケジュール

	内容
19:00～	主催者挨拶／コーディネーター紹介／座談会概要説明
19:30～ 事例紹介	開催エリアの地域包括支援センターに寄せられたケースを参考に作成した、在宅療養を必要とする高齢者のモデル事例をご紹介します。 (テーマは「退院後の在宅生活における多職種での支援」です。開催エリアの特性を盛り込んでいるため、事例は交流会ごとに異なります。)
19:45～ 座談会	グループごと自己紹介に始まり、テーマについて話し合い、「各々の職種でどのような支援ができるか」を紹介し、関係づくりに向けた座談会を行います。
20:30～ 発表	他のグループの意見を聞き、他職種の考え方や支援方法を知ることで、今後の医療・介護連携に活かしましょう！
20:45～21:00 まとめ	感想や今後活かしていきたいこと等の意見交換／次回の開催予定など

<お問い合わせ>

甲府市役所 地域包括支援課 (小田切・中村)

TEL: 055-237-5484(直通)

(お申し込みについては裏面をご覧ください)

<主催>



甲府市

申込方法

参加申込フォームに必要事項をご記入のうえ、FAX又はメールにてお申込みください。
 メールの場合は、甲府市ホームページに掲載してある参加申込フォームをご利用ください。

詳しくは [顔の見える関係づくり交流会](#) [検索](#)

甲府市在宅医療・介護連携推進事業「顔の見える関係づくり交流会」参加申込フォーム

甲府市役所 福祉保健部 長寿支援室 地域包括支援課 あて

FAX送付先 055-236-0118 メール送付先 chiikihs@city.kofu.lg.jp

病院又は施設名等		電話番号	
所在地		FAX番号	
ご記入者		メールアドレス	

●参加者

ふりがな(必須) お名前(必須)	職種(必須) 兼務されている方は主たるものを記入	仕事でお使いになっている電話番号・ メールアドレス(任意)	自己PRを一言! (任意)
		【電話番号】	
		【メールアドレス】	
		【電話番号】	
		【メールアドレス】	
		【電話番号】	
		【メールアドレス】	

※参加者が4名以上の場合は、このフォームをコピーしてお使いください。

※参加者のお名前、職種、電話番号、メールアドレス、自己PRは今後の連携に活かせるよう、名簿を作成し、当日参加者に配付しますので、あらかじめご了承ください。

第5回

10/19(木)

甲府市総合市民会館

〒400-0867
 甲府市青沼 3-5-44
 TEL: 055-231-1951

<今後の開催予定>

開催月	開催予定日	開催包括エリア	開催時間	開催場所
11月	15(水)	南西	19:10~	南公民館
1月	17(水)	南東	19:00~	甲府市総合市民会館
2月	20(火),21(水), 23(金) いずれかの1日	北西		会場未定

<会場周辺地図>



※駐車場に限りがありますので、なるべく乗りあわせてお越しください。